

☆植物検疫病害虫カードバトル☆

2人+審判1名

- ・カード 2 組
- ・プレイマット 2 組
- ・インターネットが使用できる端末

- ・カードをA4サイズの厚紙や名刺用紙などに両面印刷して切り取ってください(2 組)
- ・プレイマットをA3サイズで印刷してください(2 組)

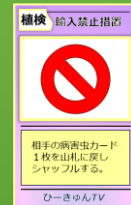
- ・ターン制カードバトル
- ・病害虫カードと植物検疫カードを混ぜたもの（山札）と、農作物カードだけのもの（農作物カード山札）を用意する。（カードの構成はお互いに同じ）
- ・ゲーム開始時、お互いに山札からカードを 3 枚引き、手札とする。自分のターン開始時に山札から 1 枚カードを引く。（ただし、初回ターンの先攻時はカードを引くことができない）
- ・ゲーム開始時にお互いに農作物カードを 3 枚自分の場に置く。
- ・病害虫カードは 1 ターンに 1 枚まで手札から場に出せる。
- ・1 ターンに 1 度、各病害虫カードは寄主植物(寄生できる植物)にのみ攻撃できる。攻撃先が寄主植物なら農作物カードを捨て札に送る。
- ・攻撃先が寄主植物でない場合はお手付きでその攻撃は無効となり、その病害虫カードは捨て札に送られる。
- ・病害虫と寄主植物の判定は審判が植物防疫法施行規則別表 2 にて確認し、判定する。
- ・相手の場の農作物カードを先に 0 にしたプレイヤーの勝利となる。
- ・植物検疫カードは自分相手のターンを問わず手札から任意のタイミングで発動できる。

①農作物カード

②病害虫カード

手札から場に出して相手の農作物カードを攻撃できる。
ただし、その病害虫が寄生できる植物にしか攻撃できない。

自分相手のターン問わず任意のタイミングで手札から発動できる。
カードによってさまざまな効果がある。



https://www.maff.go.jp/pps/j/law/houki/shorei/shorei_12_html_12.html

上記リンクの別表 2 を参照してください。プレイ中は審判が組み合わせが合っているか判定します。例えばチチュウカイミバエの植物の欄には“ばら科植物の生果実”があるのでばら科であるリングは寄主植物です。さつまいもの生塊根は記載がないので寄主植物ではありません。農作物の科名や属名は農作物カードに記載があるので参照してください。

農作	リンゴ
	
科名：バラ科 (Rosaceae) 属名：リンゴ属 (Malus)	
ひーきゅんTV	

カード紹介

ゲームに登場するカードの意味を紹介します。

植検トリメドラル

相手の場にあるチチュウカイミバエを捨て札に送る。

ひーきゅんTV

植検メチルオイケノール

相手の場にあるミカンコミバエ種群を捨て札に送る。

ひーきゅんTV

それぞれチチュウカイミバエとミカンコミバエの仲間の雄を誘引する化学物質です。侵入を警戒するためのトラップ調査などに用いられています。

植検分布地域拡大

自分の山札から任意の病害虫カードを手札に加え、山札をシャッフルする。
このカードを発動する場合、このターンは病害虫カードを場に出すことはできない。

ひーきゅんTV

病害虫の分布地域が拡大すると、その地域の農業が大きな被害を受けることがあります。これを防ぐことが植物検疫の役割の一つです。

植検検疫探知犬

相手の病害虫カードを1枚選択する。
そのカードは2ターンのあいだ攻撃できない。

ひーきゅんTV

手荷物や国際郵便物などの中から動植物検疫の検査を必要とする肉製品、植物等を嗅ぎ分けて発見する訓練を受けている犬のことで。動植物検疫探知犬は、家畜の伝染病や植物の病害虫が日本へ侵入することを防ぐという重要な役割を担っています。

植検寄主植物除去

自分の農作物カード1枚と相手の病害虫カード1枚を捨て札に送る。

ひーきゅんTV

病害虫が寄生する植物を除去することにより、病害虫のまん延を防ぐ方法です。

植検焼き畑農業

自分の農作物カードをすべて捨て札に送り、同じ枚数の農作物カードを場に出す。

ひーきゅんTV

土地に火入れを行うことで、雑草や病害虫を防除したり、農地に養分を供給する農法のことです。一方で環境や生態系への負荷が懸念されている手法でもあります。

植検総合的病害虫管理

Integrated
Pest
Management

自分の農作物カード1枚と相手の場の病害虫カード1枚を選択する。
選んだカードはそのカードに対して攻撃できない。

ひーきゅんTV

病害虫や雑草の発生増加を抑えるための措置を総合的に行うことを指します。化学農薬、抵抗性品種、栽培管理方法、病害虫の天敵などを組み合わせることで、病害虫を抑えつつ、環境や健康への被害を低減させることができます。

植検

不妊虫放飼



相手の場にあるアリモドキゾウムシ、ミカンコミバエ種群、ウリミバエを捨て札に送る。

ひーきゅんTV

植検

輸入禁止措置



相手の病害虫カード1枚を山札に戻しシャッフルする。

ひーきゅんTV

植検

蒸熱処理



自分の場にあるパパイア、マンゴウ、レイシ、マンゴスチンは2ターンのあいだ攻撃を受けない。

ひーきゅんTV

植検

低温処理



自分の場にあるオレンジ、レイシ、ブドウ、アボカドは2ターンのあいだ攻撃を受けない。

ひーきゅんTV

植検

IPPC会議

International
Plant
Protection
Convention

お互いの手札を見せ合う。

ひーきゅんTV

植検

フランテーション出展



相手の場の農作物カード1枚を捨て札に送る。
相手の山札から自分の任意の農作物カード1枚を相手の場に出す。

ひーきゅんTV

防除対象の害虫を大量に増殖し、人工的に不妊化したのち野外に放す方法です。不妊化した雄と交尾した雌が産んだ卵はふ化しないため、次第に害虫の数を減らすことができます。日本ではアリモドキゾウムシ、ミカンコミバエの仲間、ウリミバエを対象に実施されたことがあります。

日本では特に侵入を警戒している病害虫が分布している地域から、その病害虫が寄生する植物の輸入を禁止しています。また、生きた病害虫そのものや、土壌についてはすべての国からの輸入を禁止しています。

輸入を禁止している植物の中には、国によっては特別な条件を満たせば輸入が認められる植物があり、これを条件付き輸入解禁植物といいます。

特別な条件の一つに蒸熱処理といって熱い蒸気 に一定時間果実をさらすことで対象の害虫を殺虫する措置があります。

パパイア、マンゴウ、レイシ、マンゴスチンは条件付き輸入解禁植物として蒸熱処理が行われている品目です。

低温処理も条件付き輸入解禁植物の特別な条件の一つです。一定期間、一定の温度以下に果実をさらすことで対象の害虫を殺虫します。オレンジ、レイシ、ブドウ、アボカドは条件付き輸入解禁植物として低温処理が行われている品目です。

IPPCとは国際植物防疫条約 (International Plant Protection Convention) のことです。年に1回、主に国際連合食糧農業機関 (FAO) 本部 (ローマ) で開催され、植物検疫措置に関する国際基準 (ISPM) の採択等が行われます。

単一の作物を大量に栽培する大規模農園、またはその手法のことをいいます。

害虫 チチュウカイミバエ



背中にどくろマークのやばいやつ。通称チチミ。

ひーきゅんTV

チチュウカイミバエは、ハエの仲間で、くだものを食いあらす大害虫です。成虫がくだものに卵を産み、生まれた幼虫が、その中身を食べてしまいます。ヨーロッパ、アフリカ、中南米、オーストラリア、ハワイなど広い地域に発生しています。

害虫 ミカンコミバエ



実につくからミバエ

ひーきゅんTV

チチュウカイミバエと同じようにハエの仲間で、くだものの他にトマトなどを食いあらす大害虫です。成虫がくだものやトマトなどに卵を産み、生まれた幼虫が、その中身を食べてしまいます。インド、台湾、中国、東南アジア、アフリカ、ハワイなどに発生しています。

害虫 クイーンズランドミバエ



クインズランドミバエではなく、クインズランドミバエ。

ひーきゅんTV

ミカンコミバエとよく似ているハエの仲間でくだものなどの害虫です。みかんなどを食べて大きくなった幼虫は、果実からぬけ出して土にもぐり、さなぎになります。オーストラリアとそのまわりの島々に発生しています。

害虫 ウリミバエ



通称ウリミ。

ひーきゅんTV

ウリ類の他、トウガラシやインゲン、熱帯果実のパパイヤ、マンゴーなども食べます。ミカンコミバエと似ているハエの仲間で、幼虫がウリ類などを食いあらす大害虫です。インド、台湾、中国、東南アジア、アフリカ、ハワイなどに発生しています。

害虫 コトリンカ



英名はCodling moth。

ひーきゅんTV

りんごやももなどにつく大害虫です。成虫が熟していない果実や葉の表面に卵を産み、生まれた幼虫は果実に入り、中身を食べてしまいます。日本以外の温帯気候地域に発生しています。

害虫 アリモドキゾウムシ



アリに似ているのでアリモドキ。

ひーきゅんTV

熱帯、亜熱帯を中心に世界各地のサツマイモ栽培地域に発生しているサツマイモの害虫です。日本ではトカラ列島以南の南西諸島(久米島等を除く)と小笠原諸島だけに発生しています。サツマイモが食べられると、異臭と苦味が出て、食用はもちろんのこと、飼料としても用いることができなくなります。

害虫 イモゾウムシ



通称イモゾウ。

ひーきゅんTV

中国、アメリカ、中南米、太平洋の島々に発生しているサツマイモの害虫です。日本では宝島(鹿児島県トカラ列島)以南の南西諸島、小笠原諸島(東京都)だけで発生が確認されています。アリモドキゾウムシと同様に、サツマイモが食べられると異臭と苦味が出て、食用や飼料用に用いることはできなくなります。



タバコに大きな被害を与える病気です。感染した葉は、正常な大きさに生育せず、変形したり湾曲したりして、ひどくなると枯れてしまいます。また、葉の裏側に青みがかった「かび」がフェルト状に見えることがあります。ミャンマー、中東、ヨーロッパ、北米、中南米、オーストラリアなどに発生しています。



リンゴやナシなどに大きな被害をもたらす細菌による病気です。まるで火にあぶられたように、木全体が枯れてしまいます。中東、ヨーロッパ、北米、ニュージーランドなどに発生しています。